



研究プロジェクト「東アジアの平和と多元的な宗教・NGO・市民社会の役割」

2013年度第1回研究会

東アジアの和解と平和

日韓キリスト教史の視点から

発題：徐 正敏 氏
(明治学院大学客員教授)

● 日時：2013年9月27日(金) 17:10～18:40

● 会場：関西学院大学上ヶ原キャンパス

吉岡記念館3F会議室1

* 一般参加可・申込不要

関西学院大学キリスト教と文化研究センター

TEL: 0798-54-6019 ・ http://www.kwansei.ac.jp/c_rcc/index.html

徐正敏 (Suh Jeong Min) 氏

- 1956年韓国大邱生まれ。
- 延世大学神学科、同教育大学院、同大学院博士課程修了。
- 同志社大学神学博士 (Th. D.) 学位取得。
- 延世大学教授、明治学院大学招聘教授を歴任。
- 韓国基督教歴史学会会長を歴任。
- 現在、明治学院大学客員教授、アジアキリスト教史学会理事。
- (日本語による主要著書)
- 『民族を愛した韓国キリスト者たち』(日本基督教団出版局、1991年)
- 『韓国キリスト教の受難と抵抗』(新教出版社、1995年、共著)
- 『三、一独立運動と堤岩里教会事件』(神戸学生青年センター、1998年、共著)
- 『日韓キリスト教関係史研究』(日本キリスト教団出版局、2009年)
- 『時代のように訪れる朝を待つ』(新教出版社、2011年、共著)
- 『韓国キリスト教史概論—その出会いと葛』(かんよう出版、2012年)
- 『日韓キリスト教関係史論選』(かんよう出版、2013年)